

14日の記録 スポーツ

2017/05/15 朝日新聞 朝刊 18 ページ 165 文字

◇ホッケー 日本リーグ

▽男子 岐阜朝日ク (3) 3-2 立命大 (3)、小矢部 (3) 2-1 飯能 (0)

▽女子 コカ・コーラウエスト (10) 2-1 山梨学院大 (9)、天理大 (7) 6-2 駿河台大 (0)、グラクソ・スミスクライン (3) 2-1 南都銀行 (6)、ソニーHC (12) 5-0 東海学院大 (3)、立命大 (9) 3-0 聖泉大 (0)

(カッコ内数字は勝ち点)

ホッケー・日本リーグ 14日

2017/05/15 東京読売新聞 朝刊 20 ページ 160 文字

▽男子 H1

岐阜朝日ク (勝ち点3) 3-2 立命大 (3)

小矢部 (3) 2-1 飯能ク (0)

▽女子

コカ・コーラウエスト (10) 2-1 山梨学院大 (9)

天理大 (7) 6-2 駿河台大 (0)

グラクソ・スミスクライン (3) 2-1 南都銀行 (6)

ソニーHC (12) 5-0 東海学院大 (3)

立命大 (9) 3-0 聖泉大 (0)

◇ホッケー 日本リーグ (14日・天理市親里ホッケー場ほか)

2017/05/15 岩手日報朝刊 12 ページ 147 文字

▽男子

岐阜朝日ク (3) 3-2 立命大 (3)

小矢部 REDOX (3) 2-1 アルダー-飯能 (0)

▽女子

コカ・コーラウエスト (10) 2-1 山梨学院大 (9)

天理大 (7) 6-2 駿河台大 (0)

グラクソ・スミスクライン (3) 2-1 南都銀行 (6)

ソニー (12) 5-0 東海学院大 (3)

立命大 (9) 3-0 聖泉大 (0)

グラクソ初白星 南都銀行に2 - 1で逆転勝ち ホッケー日本リーグ

2017/05/15 下野新聞速 317文字

ホッケー日本リーグは14日、奈良県の親里ホッケー場ほかで女子の第2節5試合を行い、本県のグラクソ・スミスラインは南都銀行に2 - 1で逆転勝ちし、今大会初勝利を挙げた。

第2クォーターに先制を許したグラクソは第3クォーターに細かいパスから攻撃を仕掛けるが無得点。最終クォーター7分、FW伊藤彩乃（いとうあやの）の打ち込みに反応したFW五島梨奈（ごしまりな）がタッチシュートを決めて同点に追いつくと、9分にも五島がタッチシュートを決めて逆転、そのまま逃げ切った。

グラクソの次戦は6月3日、埼玉県飯能市の阿須運動公園ホッケー場で東海学院大と対戦する。
グラクソ・スミスライン（3） 2（0 - 0, 0 - 1, 0 - 0, 2 - 0） 1 南都銀行（6）
（共同通信）

ホッケー日本リーグ RED OX初勝利 小矢部 ホームで攻撃陣躍動

2017/05/15 北日本新聞朝刊 19ページ 248文字

男子ホッケー日本リーグが14日、小矢部市の小矢部ホッケー場などで行われ、今季1部に参入した小矢部RED OXが2 - 1でALDER飯能を下し、ホームで初勝利を挙げた。成績は1勝1敗。

小矢部は第1クォーター4分にペナルティーコーナー（PC）を与えて先制を許したものの、13分に新加入で日本代表候補のMF村田和麻がPCから同点ゴールを決めた。第2クォーターに再びPCの好機をつかみ、FB河合亮平が決勝ゴールを奪った。村田は「地元で勝てて良かった。多くの人に見に来てもらえるよう頑張りたい」と話した。

◇ホッケー日本リーグ 山学大女子が逆転許し黒星

2017/05/15 山梨日日新聞 15 ページ 603 文字

ホッケー日本リーグは14日、奈良・親里ホッケー場ほかで行われ、女子の山梨学院大はコカ・コーラに1-2で逆転負けした。通算成績は3勝1敗。山学大は第2クォーター12分、相手陣でルーズボールを拾った小林葉月が冷静に決めて先制。その後は押し込まれ、第4クォーター3分に同点に追い付かれると、終了間際の14分に勝ち越しゴールを奪われた。

▽女子

コカ・コ 2 (0-0) 1 山梨学院

ーラウエ (0-1) 大

スト (0-0) (9)

(10) (2-0)

天理大 6 (2-1) 2 駿河台大

(7) (1-0) (0)

(2-0)

(1-1)

グラクソ 2 (0-0) 1 南都銀行

・スミス (0-1) (6)

クライン (0-0)

(3) (2-0)

ソニー 5 (0-0) 0 東海学院

(12) (1-0) 大

(3-0) (3)

(1-0)

立命大 3 (0-0) 0 聖泉大

(9) (2-0) (0)

(1-0)

(0-0)

▽男子

岐阜朝日 3 (0-1) 2 立命大

ク (0-0) (3)

(3) (3-1)

(0-0)

小矢部R 2 (1-1) 1 アルダー

E D O X (1-0) 飯能

(3) (0-0) (0)

(0-0)

ホッケー女子日本 L ソニー 4 連勝 県勢対決を制す

2017/05/15 岐阜新聞朝刊 20 ページ 432 文字

ホッケー女子の日本リーグ第 2 節第 2 日は 1 4 日、滋賀県の伊吹ホッケー場などで 5 試合を行い、ソニー H C が東海院大に 5—0 で勝ち、開幕から負けなしの 4 連勝を飾り、首位。

ソニーは第 2 クォーター 2 分、M F 永井葉月のヒットシュートで先制。さらに攻勢を掛け、第 3 クォーターには、インターセプトから F W 清水美並が追加点。さらに永井友、昨年まで東海院大でプレーした M F 八木麻理菜が立て続けにゴールを奪った。東海院大は第 1 クォーターこそ、相手のグリーンカードで数的優位に立って攻勢を仕掛けたが、終盤になっても運動量が落ちないソニーのゴールを割ることができなかった。

第 3 節第 1 日は 6 月 3 日、埼玉県の阿須運動公園などで 5 試合を行う。ソニーは駿河台大、東海院大はグラクソ・スミスクラインと対戦する。

= 県関係分

ソニー H C (1 2) 5 (0—0、1—0、3—0、1—0) 0 東海院大 (3)

▽得点者【ソ】永井葉 (2 Q 2 分) 清水 (3 Q 3 分) 永井友 (3 Q 4 分) 八木 (3 Q 9 分) 坂井 (4 Q 1 2 分)

ホッケー男子日本 L 岐阜朝日ク初勝利

2017/05/15 岐阜新聞朝刊 20 ページ 381 文字

ホッケー男子の日本リーグ H 1 (1 部) 第 4 日は 1 4 日、大阪府の立命館ホリーズスタジアムなどで 2 試合を行い、岐阜朝日クラブ B D (B L U E D E V I L S) は、立命大に 3—2 で逆転勝ちし、今季初白星を挙げた。

岐阜朝日は、第 1 クォーターに P C から先制を許したが、第 3 クォーター 6 分に P C から新加入した日本代表 F B 山田翔太がシュートを決め、同点に追い付いた。1 分後に再び 1 ビハインドとなったが、同クォーター終了間際の 1 3 分と 1 4 分に、日本代表の F W 田中健太が立て続けに 2 ゴールを奪って、逆転した。

岐阜朝日の次戦は、第 5 日の 2 8 日、富山県の小矢部ホッケー場で小矢部 R E D O X と対戦する。

= 県関係分

岐阜朝日ク B D (3) 3 (0—1、0—0、3—1、0—0) 2 立命大 (3)

▽得点者【岐】山田 (3 Q 6 分) 田中健 2 (3 Q 1 3 分、同 1 4 分) 【立】渡辺 2 (1 Q 1 1 分、3 Q 7 分)

ホッケー 日本リーグ (14日・天理市親里ホッケー場ほか)

2017/05/15 中日新聞朝刊 22 ページ 194 文字

▽男子

岐阜朝日ク (3) 3 - 2 立命大 (3)

小矢部 REDOX (3) 2 - 1 アルダー飯能 (0)

▽女子

コカ・コー (10) 2 - 1 山梨学院大 (9)

ラウエスト

天理大 (7) 6 - 2 駿河台大 (0)

グラクソ・ス (3) 2 - 1 南都銀行 (6)

ミスクライン

ソニー (12) 5 - 0 東海学院大 (3)

立命大 (9) 3 - 0 聖泉大 (0)

女子ホッケー日本リーグの公式戦で、エスコートキッズを務め、スタンドに向かって整列した地元中学生と選手ら（米原市春照、県立伊吹運動場）



ホッケー トップ選手に感激

2024年国体のホッケー会場に内定している米原市春照の県立伊吹運動場で13、14両日、女子ホッケー日本リーグの公式戦4試合が行われた。地元の中学生やスポーツ少年団の児童が、選手の入場を誘導するエスコートキッズや補助員を務め、大会を盛り上げた。

米原で初 女子日本リーグ公式戦 小中生ら先導役「プレー参考になる」

伊吹山中と彦根西中の部員や春照、山東、若葉スポーツの計72人が先導役として、ソニーH Cと立命館大、聖泉大など4チームの選手とともに入場した。

伊吹山中1年山本紗瑛さん(12)は「リオ五輪代表の永井葉月さんと手をつないでもらった。大きな体ですごい筋肉。いつかそうなりたい」と満面の笑み。スタンドで試合を観戦した彦根西中2年の安藤暖さん(13)は「自分のポジションのプレーやパス回しが参考になる。国内トップリーグのゲームを県内で見られて良かった」とうなずいた。

大会本部によると、日本リーグ公式戦は同市でのホッケー機運をより高めようと県ホッケー協会が誘致し、同運動場で初めて開かれた。会場には、観戦の市民やファン、ボランティアら2日間で計千人が訪れたという。

同市は20年東京オリンピックでも、ニュージーランドのホストタウンとして事前合宿の誘致などを計画している。(万代憲司)

2024年国体のホッケー会場に内定している米原市春照の県立伊吹運動場で13、14両日、女子ホッケー日本リーグの公式戦4試合が行われた。地元の中学生やスポーツ少年団の児童が、選手の入場を誘導するエスコートキッズや補助員を務め、大会を盛り上げた。

伊吹山中と彦根西中の部員や春照、山東、若葉スポーツの計72人が先導役として、ソニーH Cと立命館大、聖泉大など4チームの選手とともに入場した。

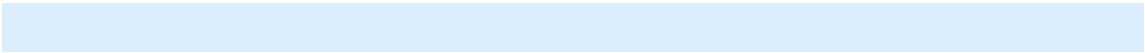
伊吹山中1年山本紗瑛さん(12)は「リオ五輪代表の永井葉月さんと手をつないでもらった。大きな体ですごい筋肉。いつかそうなりたい」と満面の笑み。スタンドで試合を観戦した彦根西中2年の安藤暖さん(13)は「自分のポジションのプレーやパス回しが参考になる。国内トップリーグのゲームを県内で見られて良かった」とうなずいた。

大会本部によると、日本リーグ公式戦は同市でのホッケー機運をより高めようと県ホッケー協会が誘致し、同運動場で初めて開かれた。会場には、観戦の市民やファン、ボランティアら2日間で計千人が訪れたという。

同市は20年東京オリンピックでも、ニュージーランドのホストタウンとして事前合宿の誘致などを計画している。(万代憲司)

【写真説明】

女子ホッケー日本リーグの公式戦で、エスコートキッズを務め、スタンドに向かって整列した地元中学生と選手ら（米原市春照、県立伊吹運動場）



コカ2位浮上 ホッケー-日本L女子

2017/05/15 中国新聞朝刊 8 ページ 1164 文字

中国新聞 2017年5月15日 月曜日 面名 スポーツ 16 8ページ



【コカ・コーラウエスト】山梨学院大後半29分、コカ・コーラウエストの辻井（左から2人目）がゴールを決め、2-1と勝ち越す

コカ2位浮上

ホッケー-日本L女子

ホッケー女子の日本リーグ第2節最終日は14日、奈良県天理市の親里ホッケー場などで5試合があった。コカ・コーラウエストは山梨学院大に2-1で逆転勝ちし、3勝1分けで2位に浮上した。コカ・コーラウエストは前半に先制されたが、後半攻勢に出た。18分に浅井のゴールで同点とし、29分に辻井のゴールで勝ち越した。山梨学院大の開幕からの連勝は3で止まった。首位のソニーは東海学院大を5-0で下し、開幕4連勝を飾った。

立命大	ソニー	ソラリス	天理大	コカ・コーラウエスト	山梨学院大
0120	1310	2000	1212	2000	2000
1000	0000	0010	1001	0010	0010
0	0	1	2	1	1
(9)	(3)	(6)	(0)	(9)	(9)

山梨学院大は学生チームとはいえず、開幕3連勝中。「実力は実業団と遜色ない」とホーグッド監督も警戒した。予想通り大接戦となったが、最後はコカ・コーラウエストの底力が勝った。熱いハートで戦いながらも、冷静さは失わなかった。前半、相手はスピードを生かして前に来た。振り切られる場面もあり、守勢に回ったなか、27分に先制ゴールを許した。それでも「攻守に自分のプレーはできている」とチームキャプテンの西村。チームに焦

実業団の底力 学生に示す

りの色はなかった。後半、コカ・コーラウエストは次第に主導権を握り始め、相手にダメージを与えていった。18分に浅井が同点ゴール。そして残り1分、2年目の辻井がゴール正面でボールを受けた。「普段ならすぐにシュートするけど、右に流してみよう」とよく見えていた。GKをおびき出して決勝点を決めた。「ゲームをコントロールできていた。ご満腹の指揮官が「もつと点を取れたはずだ」と注文も忘れなかった。」(下手義樹)

コカ2位浮上

ホッケー-日本L女子

ホッケー女子の日本リーグ第2節最終日は14日、奈良県天理市の親里ホッケー場などで5試合があった。コカ・コーラウエストは山梨学院大に2-1で逆転勝ちし、3勝1分けで2位に浮上した。

コカ・コーラウエストは前半に先制されたが、後半攻勢に出た。18分に浅井のゴールで同点とし、29分に辻井のゴールで勝ち越した。山梨学院大の開幕からの連勝は3で止まった。首位のソニーは東海学院大を5-0で下し、開幕4連勝を飾った。(下手義樹)

▽女子

コカ・コーラウエスト	2	0-0	1	山梨学院大
(10)		0-1	(9)	
		0-0		
		2-0		
天理大	6	2-1	2	駿河台大
(7)		1-0	(0)	
		2-0		

		1 - 1	
グラクソ・スミスクライン	2	0 - 0	1 南都銀行
(3)		0 - 1	(6)
		0 - 0	
		2 - 0	
ソニー	5	0 - 0	0 東海学院大
(1 2)		1 - 0	(3)
		3 - 0	
		1 - 0	
立命大	3	0 - 0	0 聖泉大
(9)		2 - 0	(0)
		1 - 0	
		0 - 0	

実業団の底力 学生に示す

山梨学院大は学生チームとはいえ、開幕3連勝中。「実力は実業団と遜色ない」とホーグッド監督も警戒した。予想通り大接戦となったが、最後はコカ・コーラウエストの底力が勝った。

熱いハートで戦いながらも、冷静さは失わなかった。前半、相手はスピードを生かして前に来た。振り切られる場面もあり、守勢に回ったなか、27分に先制ゴールを許した。それでも「攻守に自分たちのプレーはできている」とゲームキャプテンの西村。チームに焦りの色はなかった。

後半、コカ・コーラウエストは次第に主導権を握り始め、相手にダメージを与えていった。18分に浅井が同点ゴール。そして残り1分、2年目の辻井がゴール正面でボールを受けた。「普段ならすぐにシュートするけど、右に流れてみよう」とよく見えていた。GKをおびき出して決勝点を決めた。

「ゲームをコントロールできていた」。ご満悦の指揮官だが「もっと点を取れたはずだ」と注文も忘れなかった。
(下手義樹)

【写真説明】【コカ・コーラウエストー山梨学院大】後半29分、コカ・コーラウエストの辻井（左から2人目）がゴールを決め、2-1と勝ち越す

きょうのスポーツ

2017/05/14 朝日新聞 朝刊 15 ページ 912 文字

■ **ホッケー 日本リーグ** (10・00 奈良・親里ホッケー場ほか)

13日の記録 スポーツ

2017/05/14 朝日新聞 朝刊 15 ページ 149 文字

◇ **ホッケー 日本リーグ**

▽男子 天理大 (6) 5-1 山梨学院大 (6)

▽女子 コカ・コーラウエスト (7) 3-2 グラクソ・スミスクライン (0)、山梨学院大 (9) 4-3 天理大 (4)、南都銀行 (6) 3-0 駿河台大 (0)、立命大 (6) 3-2 東海学院大 (3)、ソニーHC (9) 14-0 聖泉大 (0)

(カッコ内数字は勝ち点)

ホッケー・日本リーグ13日

2017/05/14 東京読売新聞 朝刊 20 ページ 142 文字

▽男子 H1

天理大 (勝ち点6) 5-1 山梨学院大 (6)

▽女子

コカ・コーラウエスト (7) 3-2 グラクソ・スミスクライン (0)

山梨学院大 (9) 4-3 天理大 (4)

南都銀行 (6) 3-0 駿河台大 (0)

立命大 (6) 3-2 東海学院大 (3)

ソニーHC (9) 14-0 聖泉大 (0)

◇ホッケー 日本リーグ (13日・天理市親里ホッケー場ほか)

2017/05/14 岩手日報朝刊 14 ページ 123 文字

▽男子

天理大 (6) 5-1 山梨学院大 (6)

▽女子

コカ・コーラウエスト (7) 3-2 グラクソ・スミスクライン (0)

山梨学院大 (9) 4-3 天理大 (4)

南都銀行 (6) 3-0 駿河台大 (0)

立命大 (6) 3-2 東海学院大 (3)

ソニー (9) 14-0 聖泉大 (0)

ホッケー／日本リーグ／グラクソは開幕3連敗

2017/05/14 下野新聞 8 ページ 370 文字

ホッケー日本リーグは13日、奈良県の親里ホッケー場ほかで女子第2節第1日などを行い、女子のグラクソ・スミスクリンはコカ・コーラに2 - 3で逆転負けし、開幕3連敗となった。

開始早々に先制を許したグラクソは8分、ペナルティーコーナー（PC）からMF尾関愛美（おぜきあいみ）が決めて同点。13分にも左サイドをダブル突破したMF柴田（しばた）あかねからのセンタリングをFW五島梨奈（ごしまりな）ゴール前で合わせ、2 - 1で前半を折り返した。しかし、後半は開始から相手に押し込まれ、第3クォーター14分に同点に追い付かれると、第4クォーター10分にPCから勝ち越し点を奪われた。

グラクソは14日、同会場で南都銀行と対戦する。

▽女子リーグ戦

コカコーラ 2勝1分（7） 3（1 - 2, 0 - 0, 1 - 0, 1 - 0） 2 グラクソ・スミスクリン 3敗（0）

◇ホッケー日本リーグ 山学大女子3連勝男子 5失点で黒星

2017/05/14 山梨日日新聞 16 ページ 705 文字

ホッケーの日本リーグは13日、奈良・親里ホッケー場などで行われ、山梨学院大女子は天理大に4 - 3で競り勝ち、開幕3連勝を飾った。山学大男子は天理大に1 - 5で敗れ、通算成績は2勝1敗。

山学大女子は第1クォーター6分に先制されたが、15分に河村元美のゴールで同点。第2クォーター4分に失点したが、12分に鈴木美結が決めて追い付いた。第3クォーターは9分に河村がゴール。第4クォーター4分に同点とされたものの、11分に小林葉月のゴールで勝ち越した。

山学大男子は第2クォーターに2失点し、第3クォーターにも追加点を許した。第4クォーターは6分に吉川大希が1点を返したが、2点を奪われた。

▽女子

山梨学院 4（1 - 1） 3 天理大

大 （1 - 1） （4）

（9） （1 - 0）

（1 - 1）

コカ・コ 3（1 - 2） 2 グラクソ

ーラウエ （0 - 0） ・スミス

スト （1 - 0） クライン

（7） （1 - 0） （0）

南都銀行 3（0 - 0） 0 駿河台大

（6） （0 - 0） （0）

（1 - 0）

（2 - 0）

立命大 3 (1-0) 2 東海学院

(6) (0-0) 大
(2-1) (3)
(0-1)

ソニー 14 (3-0) 0 聖泉大

(9) (4-0) (0)
(2-0)
(5-0)

▽男子

天理大 5 (0-0) 1 山梨学院

(6) (2-0) 大
(1-0) (6)
(2-1)

ホッケー女子日本L ソニー3連勝 東海院大は競り負け

2017/05/14 岐阜新聞朝刊 19 ページ 620 文字

ホッケー女子の日本リーグ第2節第1日は13日、滋賀県の伊吹ホッケー場などで5試合を行い、ソニーHCが、聖泉大に14-0で大勝し、開幕からの連勝を3に伸ばした。東海院大は立命大に2-3で競り負けた。

ソニーは、開始早々から主導権を握り、第1クォーター4分、PCでFB坂井志帆がヒットシュートを決め先制。さらに10分にはFW深野加弥、11分にも坂井がPCから加点、リードを広げた。第2クォーター以降も攻撃力で圧倒し、着実に加点して突き放した。

東海院大は、第1クォーターにカウンターから先制点を許すなど2点を先行された。第3クォーター10分にMF中川杏香のリバースシュート、第4クォーターにはPCからFW鳥山麻衣が鮮やかなタッチシュートを決めて追いつけたが及ばなかった。

第2節第2日は14日、同ホッケー場などで5試合を行い、ソニーと東海院大が県勢対決する。

=県関係分

ソニーHC (9) 14 (3-0、4-0、2-0、5-0) 0 聖泉大 (0)

▽得点者【ソ】坂井2 (1Q4分、1Q11分) 深野3 (1Q10分、2Q8分、3Q7分) 永井友2 (2Q3分、4Q10分) 小沢3 (2Q12分、4Q1分、4Q4分) 八木 (2Q13分) 小川 (3Q14分) 真野 (4Q1分) 永井葉 (4Q12分)

立命大 (6) 3 (1-0、0-0、2-1、0-1) 2 東海院大 (3)

▽得点者【立】湯浅 (1Q6分) 藤谷 (3Q8分) 飯味 (3Q13分) 【東】中川 (3Q10分) 鳥山 (4Q11分)

女子ホッケー熱く 米原で日本リーグの試合

2017/05/14 中日新聞朝刊 地方版 (滋賀総合版) 21 ページ 461 文字



ボールを奪い合う聖泉大(赤)とソニーの選手たち＝米原市の県立伊吹運動場で

女子ホッケー熱く

米原で日本リーグの試合

女子ホッケー日本リーグの試合が十三日、米原市春照の県立伊吹運動場であった。県内での開催は初めてで、地元の聖泉大(彦根市)は0-14で社会人チーム「ソニーHC ブラビア・レディーズ」に敗れた。立命館大は3-2で東海学院大に勝利した。十四日も二試合がある。

リーグは四月二十二日に開幕。全国の十チームが参加し、十月まで各地で定期的に試合を行い、順位を競う。県内から唯一参加する聖泉大は、リーグ二連覇中のソニーに試合開始直後から猛攻を受けた。後半は相手ゴール前にボールを集めるなどしたが、強豪の壁を崩せなかった。

宮崎奈美監督は「個人スキルや経験で大きな差があった。どのチームと戦っても自分たちはチャレンジャー。受け身になることなく、積極的に攻めていく姿勢を持ち続けたい」と気を引き締めた。

十四日は、午前十時からソニー-東海学院大、午後零時十分から聖泉大-立命館大の試合がある。当日の入場券は一般・大学生が千円、高校生は五百円、中学生以下は無料。ホッケー日本リーグの公式ホームページで試合中継がある。(山村俊輔)

【滋賀県】女子ホッケー日本リーグの試合が十三日、米原市春照の県立伊吹運動場であった。県内での開催は初めてで、地元の聖泉大(彦根市)は0-14で社会人チーム「ソニーHC ブラビア・レディーズ」に敗れた。立命館大は3-2で東海学院大に勝利した。十四日も二試合がある。

リーグは四月二十二日に開幕。全国の十チームが参加し、十月まで各地で定期的に試合を行い、順位を競う。

県内から唯一参加する聖泉大は、リーグ二連覇中のソニーに試合開始直後から猛攻を受けた。後半は相手ゴール前にボールを集めるなどしたが、強豪の壁を崩せなかった。

宮崎奈美監督は「個人スキルや経験で大きな差があった。どのチームと戦っても自分たちはチャレンジャー。受け身になることなく、積極的に攻めていく姿勢を持ち続けたい」と気を引き締めた。

十四日は、午前十時からソニー-東海学院大、午後零時十分から聖泉大-立命館大の試合がある。当日の入場券は一般・大学生が千円、高校生は五百円、中学生以下は無料。ホッケー日本リーグの公式ホームページで試合中継がある。(山村俊輔)

ホッケー 日本リーグ (13日・天理市親里ホッケー場ほか)

2017/05/14 中日新聞朝刊 26 ページ 149 文字

▽男子

天理大 (6) 5 - 1 山梨学院大 (6)

▽女子

コカ・コー (7) 3 - 2 グラクソ・ス (0)

ラウエスト ミスクライン

山梨学院大 (9) 4 - 3 天理大 (4)

南都銀行 (6) 3 - 0 駿河台大 (0)

立命大 (6) 3 - 2 東海学院大 (3)

ソニー (9) 14 - 0 聖泉大 (0)

コカ逆転勝ち ホッケー日本L女子

2017/05/14 中国新聞朝刊 18 ページ 1137 文字

中国新聞 2017年5月14日 日曜日 面名 スポーツ 16 18ページ



「コカ・コーラウエストはグラクソ・スミスクリン」後半26分、コカ・コーラウエストの浅井がゴール前にパスを送り、加藤の決勝ゴールをアシストする

ホッケー女子の日本リーグ第2節第1日は13日、奈良県天理市の親里ホッケー場などで

コカ逆転勝ち

ホッケー日本L女子

5試合があった。コカ・コーラウエストはグラクソ・スミスクリンを3-2で下し、2勝1分けとした。コカ・コーラウエストは1-2の後半、主導権を握り、14分に西田が同点ゴール。26分にはペナルティコーナー（PC）から加藤のゴールで勝ち越した。ソニーは聖泉大に14-0で圧勝し、開幕3連勝を飾った。

「超攻撃的ホッケー」一端を披露 自信の指揮官

ホーグッド新監督が目指す、超攻撃的ホッケーの一端が見えた。コカ・コーラウエストは立ち上がりからスピーディーなパスワークで攻撃を展開。相手のチェックをかわし、ワンタッチで流れるようにつないだ。前半2分、いきなり加藤の先制ゴールが生まれた。1-2の後半からはボールを保持し続けた。ほとんどの時間を敵陣でプレーし、14分に同点ゴール。26分にはPCから加藤が決勝ゴールを決めた。「もっとハードワークできれば、相手に攻

撃の時間を与えることはない」と加藤は手応えを口にした。ただ、未完成だけにもろさも共存している。前半、先制した後はミスから守勢に回り、5分間で2失点。ゲームキャプテンの西村は「練習通りのプレーができず、チーム全体がパニックになった」と振り返る。「熟成するにはまだまだ時間がかかる。我慢強くやっていくよ」と指揮官。にやりと笑った表情に、自信がのぞいた。（下手義樹）

山梨学院大	4	1111	1101	▽女子
天理大	3	1011	0002	(下手義樹)
ソニー	14	9	6	行部
聖泉大	0	000	1100	大野
東海大	3	0	0	大野
天理大	0	0	0	大野

コカ逆転勝ち

ホッケー日本L女子

ホッケー女子の日本リーグ第2節第1日は13日、奈良県天理市の親里ホッケー場などで5試合があった。コカ・コーラウエストはグラクソ・スミスクリンを3-2で下し、2勝1分けとした。

コカ・コーラウエストは1-2の後半、主導権を握り、14分に西田が同点ゴール。26分にはペナルティコーナー（PC）から加藤のゴールで勝ち越した。ソニーは聖泉大に14-0で圧勝し、開幕3連勝を飾った。（下手義樹）

▽女子

コカ・コーラウエスト	3	1-2	2	グラクソ・スミスクリン
(7)		0-0	(0)	
		1-0		
		1-0		
山梨学院大	4	1-1	3	天理大

(9)	1 - 1	(4)
	1 - 0	
	1 - 1	
南都銀行	3 0 - 0	0 駿河台大
(6)	0 - 0	(0)
	1 - 0	
	2 - 0	
立命大	3 1 - 0	2 東海学院大
(6)	0 - 0	(3)
	2 - 1	
	0 - 1	
ソニー	1 4 3 - 0	0 聖泉大
(9)	4 - 0	(0)
	2 - 0	
	5 - 0	

「超攻撃的ホッケー」一端を披露 自信の指揮官

ホーグッド新監督が目指す、超攻撃的ホッケーの一端が見えた。コカ・コーラウエストは立ち上がりからスピーディーなパスワークで攻撃を展開。相手のチェックをかわし、ワンタッチで流れるようにつないだ。前半2分、いきなり加藤の先制ゴールが生まれた。

1 - 2の後半からはボールを保持し続けた。ほとんどの時間を敵陣でプレーし、14分に同点ゴール。26分にはP Cから加藤が決勝ゴールを決めた。「もっとハードワークできれば、相手に攻撃の時間を与えることはない」と加藤は手応えを口にした。

ただ、未完成だけにもろさも共存している。前半、先制した後はミスから守勢に回り、5分間で2失点。ゲームキャプテンの西村は「練習通りのプレーができず、チーム全体がパニックになった」と振り返る。

「熟成するにはまだまだ時間がかかる。我慢強くやっていくよ」と指揮官。にやりと笑った表情に、自信がのぞいた。(下手義樹)

【写真説明】【コカ・コーラウエストーグラクソ・スミスクライン】後半26分、コカ・コーラウエストの浅井Ⓔがゴール前にパスを送り、加藤の決勝ゴールをアシストする

きょうのスポーツ

2017/05/13 朝日新聞 朝刊 23 ページ 846 文字

■ホッケー日本リーグ (1 1・0 0 奈良・親里ホッケー場ほか)

14日のスポーツ

2017/05/13 共同通信ニュース 1327 文字

◇ホッケー 日本リーグ (1 0時・天理市親里ホッケー場ほか)

きょうのスポーツ<面名=スポーツ>

2017/05/13 神奈川新聞 8 ページ 43 文字

◇ホッケー 日本リーグ (1 1 時・天理市親里ホッケー場ほか)

<面名=スポーツ> (共同通信)

きょうのスポーツ

2017/05/13 中日新聞朝刊 25 ページ 28 文字

◇ホッケー 日本リーグ (1 1 時・天理市親里ホッケー場ほか)

13日のスポーツ

2017/05/12 共同通信ニュース 28 文字

◇ホッケー 日本リーグ (1 1 時・天理市親里ホッケー場ほか)

◎ 地域×きょういく

◆ ホッケーは宝 次代にパス OBや住民 練習支え

島根県の山あいにある奥出雲町は「ホッケーの町」だ。1982年の「くにびき国体」で競技会場となって以来、町に根付き、ほとんどの学校の校庭にゴールがある。とりわけ町立横田中学校ホッケー部の活躍は過疎に悩む地域を勇気づけ、住民たちも部活動を支える。（中瀬有紀）

大型連休中の今月3日、町のホッケー場にスティックでボールを打つ乾いた音が響いた。横田中ホッケー部などが主催した強化合宿だ。京都や佐賀などの12校が参加して対戦。選手たちは長さ約90センチのスティックでボールをドリブルし、細かくパスをつなぐ。シュートは時速百数十キロにもなるが、キーパーはひるまずグラブではじき返した。

「先輩たちが強かったから他府県から強豪が来てくれるんだ。課題をしっかりとって試合に臨もう」。女子ホッケー部を指導する二沢修（にざわ・おさむ）さん（43）が部員たちに語りかけた。

「おささん」と親しまれる二沢さんは横田中OB。関西の実業団で活躍した後、約20年前に帰郷し、地元企業で働く傍ら休日に指導する。女子主将の3年千原明音（ちはら・あかね）さん（14）は「仕事の合間を縫って教えてくれるおささんに応えたい」と慕う。

雪深くなる冬場も室内トレーニングを重ね、全日本中学生ホッケー選手権大会（全中）では男子3回、女子2回の優勝を誇る。二沢さんら地域でホッケーに親しんだ住民が支え、大会には卒業生らが駆けつける。男子主将の3年嵐谷迅（あらしだに・じん）君（14）は「自宅の庭で練習している時も近所の人が声をかけてくれる。応援してもらってるから頑張れる」。

地域で眼鏡店を経営する諏訪好映（よしてる）さん（50）も横田中の卒業生。2007年、長男が所属していた男子ホッケー部が全中で優勝した時は、商店に「おめでとう」と紙が貼られるなど祝勝ムードに包まれた。「ホッケーは町の宝なんです」と話す。

人口約1万3000人の町は農業が主産業。高校の強豪・県立横田高や05年に日本リーグに加盟したクラブチーム「セルリオ島根」があるが、働き口は少ない。このため、セルリオの選手を地元企業や団体が受け入れている。

セルリオの高橋伸也選手（32）も横田中OBで、男子ホッケー部を指導する。昨年、地元の中高生をセルリオの練習に招く取り組みを始めた。「中学生の頃、指導者の大人をドリブルで抜いたりするのが楽しかった。今は子どもたちのいきいきした姿が自分の励みになる」。小さな町にホッケーが根付いたのは、世代を超えて一つになれるからだ。

〈学校の自慢〉

◆ 2年生「たたら」体験

奥出雲町には、砂鉄から日本刀などの鋼を作る古来の製鉄法「たたら」が受け継がれている。横田中の2年生は夏休みにたたらを体験し、出来上がった鉄の塊「ケラ」が玄関に飾られている。

釜を粘土で作り、砂鉄を熱して溶かす際は温度を管理したり、風を送ったり、分担して行う。昨年の夏、釜

に砂鉄を投入した3年石山大翔（ひろと）君（14）は「みんなが一つひとつの作業をしっかりとやることが大事だと思った」。ケラは生徒たちの団結の証した。

◎地域の教育現場で特色ある取り組みや人を紹介します

◎「横田中学校」の校名は女子ホッケー部主将の千原明音さんが書きました。